

こどもたちの環境学習を考えるワークショップ

2月20日(月)山形県教育センター(天童市)にて開催



学校や地域で環境学習に取り組んでいる方々が集まり、「こどもたちの環境学習を考えるワークショップ」を開催しました。
事例発表「さくらぼ環境ISOに取り組んで」 高嶋さき子氏(東根市立長瀬小学校)
「海岸砂防林の保全活動に取り組んで」 齋藤 元氏(酒田市立十坂小学校)
「森の保育園の試み ~豊かな感性を育てるために~」 菊池智恵氏(森の人講座)
「ブナの森での野外活動に取り組んで」 横山 完氏(県立自然博物館)
「環境アドバイザーとして関わって」 橋本 聡氏(環境アドバイザー)
「環境のまちづくりに取り組んで」 村上奈美子氏(高畠町環境対策室)
ファシリテーター 奥山和司氏(やまがたグローバル教育研究会、環境アドバイザー)

学校から家庭へ、そして地域へ...

参加者のみなさんは、こどもたちの環境学習への関わり方を、多様な実践をしている方々の話を聞き学んだり、情報や意見を交換したりし、相互の理解を深めました。ワークショップで学んだことを今後活かしていこうと、活動への意欲を新たにしていたようです。

環境に取り組むことは楽しい!



平成17年度

ガンカモ研修会 開催

1月23日(月)

場所 am:庄内総合支庁、
pm:酒田市最上川スワンパーク

総合支庁等の自然環境担当職員を対象として、調査対象となっている鳥類についてその特徴や他の鳥との見分け方などについて見識を深めるとともに当該鳥類の生息環境を現地において観察し、調査の精度を高めることを狙いとして、ガンカモ調査現地研修会を開催しました。

現地研修会場となった最上川スワンパークにおいて地吹雪すさが悪天候の中、調査対象鳥類を熱心に観察する参加者。

この日ガンカモ類はオオハクチョウ 250羽、コハクチョウ 50羽、オナガガモ 30000羽、ホシハジロ 100羽、キンクロハジロ 10羽(以上概数)が観察されました。

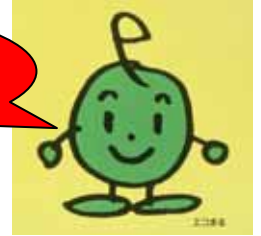


オナガガモの大群。餌付けによる影響でしょうか、ご覧の状況です。

このように一つの種が一箇所に集中することの弊害も考えていかなければならない課題です。

こどもエコクラブ 全国フェスティバル INかめやま

こどもエコクラブ!



3月25,26日に、地球を守るために全国各地で活動する「こどもエコクラブ」の仲間たちが、三重県亀山市に集合しました。

山形県からは天童市の「ガールスカウト山形県第2団」が招待クラブとして参加しました。

壁新聞セッションや関の町並み交流、グリーンラリーや「どうぶつ奇想天外!」でおなじみの千石正一先生の講演、ASIMOショーなどで楽しむことができました。

1泊2日の強行軍でしたが、みんな元気に参加してきました。

3月27日、天童市立中部公民館で交流会を開きました。
全国フェスティバルの報告や今年度の活動報告の後、朝日町でハチ蜜の森キャンドルをしている安藤竜二さんから、いろんなハチの巣やハチの話を聞き、蜜ろうそく作りをしました。

温めた蜜ろうを思い思いの形にこねて芯を通します。軽くバーナーであぶり冷ましたあと手でこすると、ぴかぴかの蜜ろうそくが出来上がりました。

こどもエコクラブ 交流会



3R学習(容器包装リサイクル)教材を 貸出致します!

児童・生徒および地域住民などのみなさんが3Rへの理解を深め、日常生活における3R実践に役立つように・・・と(財)クリーン・ジャパン・センターが作成した3R学習教材を、貸し出ししています。身近な製品のリサイクルの流れが、見て触れて実感できます。学校の授業や地域における3Rに関する取り組みなどでご活用ください。

どのように説明すればわかりやすいかを示した指導者用の冊子等もありますので、詳しく知りたい方はセンター環境企画部までご連絡下さい。



3Rとは...

リデュース: ごみを減らそう。物を大切に
使おう

リユース: 繰り返して使おう。

リサイクル: 再び資源として利用しよう。
ごみの減量化や資源、エネルギーを考
える上で大切な3つのことの頭文字を取
って「3R」と言います。

山形県環境科学研究センター

村山市楯岡笛田三丁目2-1

0237-52-3124

e-mail:kankyose@pref.yamagata.jp

編集:環境企画部

平成18年3月31日発行